

上部消化管造影検査を受けられる方へ

上部消化管（食道、胃、十二指腸）を検査するために、バリウムと発泡剤を服用してX線透視と撮影を行います。検査の際透視台にあがっていただきますが、この台は立位（立った位置）から臥位（寝た位置）まで動きます。さらに頭のほうが少し低くなることもあります。また検査中右を向いたり、左を向いたり、1回転したりしていただくこともありますので医師の指示に従ってください。

上部消化管透視の際の注意事項

- ① X線照射をしますので、妊娠しておられる方は検査できません。
 - ② 妊娠の可能性が考えられる方は、比較的安全な時期である生理開始日から10日以内に検査を受けてください。
 - ③ 検査前に胃腸の動きを止めるブスコパン等の注射を行います。緑内障、心疾患、前立腺肥大、薬物アレルギーなどの方はこの注射が出来ませんので、お申し出下さい。
 - ④ 検査前日の夕食後（午後8時以降）は食べたり、飲んだりしないでください。服薬中のお薬があるときは主治医にご相談下さい。
 - ⑤ タバコも分泌物を増やすため、同様に中止してください。
 - ⑥ 検査の際更衣していただきますので、更衣しやすい服装でお越し下さい。
 - ⑦ 検査は10分前後で終わります。
- *検査をキャンセルされる場合は、神戸掖済会病院 地域医療連携室（TEL 078 - 781 - 1411）にご連絡下さい。

内視鏡検査を受けられる方へ（1）

内視鏡検査では直径1cm程度の柔軟性のあるファイバースコープを食道、胃、十二指腸に挿入して消化管内部の粘膜の状態を調べます。普通は喉を局所麻酔剤で麻酔して意識のある状態で検査します。神経質な人や、喉の反射が強い人は睡眠薬や鎮静剤を使って、うとうとした状態で検査することもあります。

内視鏡検査に際しての注意事項

- ① 検査の前日の夕食後（午後8時以降）は飲んだり食べたりしないで下さい。
- ② タバコも分泌物を増やしますので、同様に禁止してください。
- ③ 検査時は更衣していただきますので、更衣しやすい服装でお越し下さい。
- ④ カメラ挿入時には後ろに反り返るなどの動作はしないで、リラックスして顎を前に突き出し軽く口をあけるような姿勢をとると、スムーズに入ります。
- ⑤ 検査は5～10分位で終了します。生検（組織の一部を取って調べること）を行う時にはもう少し時間がかかります。
- ⑥ 検査後は喉の麻酔が取れてから飲食してください。（1時間～2時間程度）
- ⑦ 生検を行った時は、検査後止血剤の点滴を行うことがあります。